



TOHOKU BUNKA GAKUEN UNIVERSITY

東北文化学園大学

輝

KIRARI

TBG 同窓会報

TBG Alumni Association News

vol. **4**

[2011.2.1]

Contents

同窓会Webサイト開設	2
会則が改正されました	4
同窓会総会議事及び審議結果	5
学園祭出展報告	5
活躍する卒業生	6
学園近況	7
選出役員一覧	7
同窓会活動	8
あとがきにかえて	8

会員の皆様に広く募集していた、同窓会報タイトルが決定しました!

在学生、教職員を含む会員の皆様から70件を超えるご応募をいただきました。ありがとうございます。

- 採用者……………1期生 荒山直子さん
(平成15年/大学・医療福祉学部保健福祉学科卒)
- 採用タイトル……「輝 kirari」(きらり)

【名前の由来】

卒業後、思い思いの現場で活躍する同窓生と夢を叶えようとする成長する在学生、同窓生と在学生の輝きを見守る教職員。それぞれの「一生懸命さとキラリと光る輝きを発信する会報であるように」との思いを込めました。この同窓会報に、「輝ける者(一生懸命さと輝き)」をたくさん詰め込んで発信していくことが、同窓生の絆を深める一助になることと思います。そんな想いを込めて「輝 kirari」を推薦しました。

同窓会

Webサイト開設



<http://www.tbgu-alumni.jp/>

2010年8月、より開かれた同窓会運営を目指し、東北文化学園大学同窓会公式Webサイトが開設されました。同窓会理事会からの依頼を受け、会員による「東北文化学園大学同窓会Webサイト制作プロジェクト」を結成、コンセプト検討、デザイン選定などの企画段階から、開設後の更新作業まで担当しています。今回は、Webサイトの利用方法をご紹介します。

東北文化学園大学同窓会Webサイト制作プロジェクト

プロジェクトリーダー	プロジェクトメンバー		
			
高橋 秀之 さん (平成7年/短大・情報工学科卒)	荒山 直子 さん (平成15年/大学・医療福祉学部 保健福祉学科生活福祉専攻卒)	今井 亨 さん (平成16年/大学・医療福祉学部 保健福祉学科保健福祉専攻卒)	一條 佑介 さん (平成17年/大学・科学技術学部 環境計画工学科卒)

【わかりやすいサイトを意識して】

高橋 本プロジェクトは、「東北文化学園大学同窓会中期的重点目標」に基づき、同窓会と同窓生の橋渡しを行い、同窓会イメージの普及と同窓生からの情報発信の強化を目的として、2010年3月よりWebサイト開設の8月まで約半年間の活動を行いました。

サイト設計の主な特徴は、同窓会の各種情報を同窓生から収集・発信が行えるようにするメールフォームの機能や携帯電話等のモバイル端末からもWebサイトが閲覧できる機能を盛り込んだことです。また、Webサイト運用の要となるサイトマップ(Webサイト内のページ構成を一覧できるようにした案内ページ)の設計については、プロジェクトメンバーで検討を重ねて、現状の同窓会運営に即した形となるように配慮しました。

一番苦労した点は、トップページデザインのサイトカラーの決定でした。当初のサイトカラーでは、同窓会役員の皆様にアンケートをとった結果、大学のカラーイメージに近い形で進める予定でしたが、5月のプロジェクトミーティングにおいて、サイトカラーに同窓会の独自性を持たせる必要が生じたことから、同月開催の同窓会理事会にて報告の上、現在のサイトカラーに落ち着きました。



コンテンツやカラーイメージなど、何度も打ち合わせを行いイメージを固めていった。

現在のカラーデザイン。当初、青や緑など大学のテーマカラーを意識したデザインが検討されていた。

【遠方でも、同窓会と大学の「今」を感じてもらえるように】

一條 一般的な同窓会ホームページの役割は、同窓生との新しい情報交換の場の提供と言えます。しかし、本会のホームページは、同窓生、教職員そして在学生との橋渡しの役割を果たしていくことをコンセプトに、『同窓会ニュース』の他に『キャンパスニュース』として、大学の現状を発信するコンテンツを新たに開設しました。

また、本ホームページ公開後、トップページ上に『同窓会ニュース』と『キャンパスニュース』のタブを作ったことで、同窓会・大学両方の最新ニュースがすぐに見えないとのご指摘を受けて、急速、トップページをリニューアルしたハプニングがありました。(笑)

今後は、『同窓会ニュース』や『キャンパスニュース』を見て、大勢の同窓生が在学期間を懐かしく思い、大学に足を運んでもらえるよう、コンテンツ内容の充実化を図っていきたいと思っています。

【会員同士をつなぐツールとして】

今井 同窓会の活動を継続的なものにしていくには、会員間の相互交流が重要です。それを促す一つの手段として、今回、同窓会ホームページの中に『同窓生の輪』という同窓生が情報を投稿・発信できるコンテンツを作りました。実際、専用ホームページへの投稿と言うと、なかなか敷居が高いように感じるかもしれませんが、同窓生同士の集まりや親睦会の案内、自身の近況報告(結婚、出産、出世?)などといった、くだけた内容を投稿しても構いません。とにかく、みなさんからの情報がないと何も始まらないので、気軽にどしどし情報を提供いただければと思います。

まずは、既にいくつかのニュースがホームページにアップされていますので、のぞいてください。

ぜひ、このコンテンツを利用して、交流の幅を広げて欲しいと思います。



「同窓生の輪」にはイベントの告知や近況も載せることができる。

【みんなと、母校と、同窓会といつもつながるために】

荒山 本会では、これまでの郵送を中心とした情報発信に加えて、Webサイトを通しての情報発信に力を入れているところです。これまでは、同窓会からの一方通行の情報発信で終わってしまうこともありましたが、広報誌の発送時には、郵送物が4500通中400通が宛名不明で帰ってきてしまうなど、多くの会員の皆様に十分な情報をお伝えするための基盤整備が不十分な状態でした。



登録情報の変更は、Webサイト右上から簡単にできる。送信される情報はSSLで暗号化され、安全に通信される。携帯電話からの変更も可能。

そこで、母校と同窓生とが気軽にそして確実に情報交換し合える場を作りたいと思い、webサイトを開設しました。今回、同窓生の声から「職場にはインターネットがつながっているのだけど…」、「郵送物は、正月に帰った時にしか見れない…」という声を多く頂きました。そういった同窓生からの声にこたえて、携帯電話からもアクセスできるようにしたり、簡単に住所変更や出欠確認等ができるようフォームを設けるなど工夫をしました。とはいえ、まだまだ同窓会webサイトの認知度は低い状態です。同窓会からの郵便物が届いていない同窓生がおりましたら、是非お声がけください。



【これからも、みんなと、少しずつ。】

高橋 冒頭でもお話ししたとおり、本プロジェクトは、8月のWebサイト開設をもって活動完了となりましたが、引き続き、Webサイトのレビューに関するメーリングリストを立ち上げ、Webサイト制作に携わったプロジェクトメンバーと意見交換しながら、Webサイトの運用を行っています。

一條 本ホームページを単なるツールとして使うのではなく、意図的に活用し、新たな価値が生まれることを期待しています。

高橋 これからも、少しずつではありますが、今後Webサイトを活用してやってみたいことなどの意見を出し合いつつ、同窓会と同窓生の橋渡しとなるようなWebサイトを目指して行きたいと思っています。

シリーズ「学園を振り返る」は次号以降に掲載します。

会則が改正されました

東北文化学園大学同窓会／会長
堀江 裕宗
平成15年／大学・科学技術学部応用情報工学科卒



昨年10月24日に総会を開催し、会則の改正を承認いただきました。会則改正については前号の同窓会報にて触れていますが、改正するに至ったのは、現行の会則ですと本会を取り巻く環境の変化から現状にそぐわない面が多々出てきてしまっているからです。同窓会発足以降、正会員が年々増えている中で、より本会の活動を活発にしていく為にも必要な改正でした。

改正後の会則を以下に掲載いたしますが、細かな変更点は公式Webサイトに改正前と改正後の条文を掲載しておりますので、ご確認下さい。

今回の改正は2つの大きなポイントがあります。

1. 役員についての規定
2. 代表者会の規定

改正前は若干名となっていた理事と幹事を増やし、全ての年次の会員と交流をもつように改正しました。

またそれに伴い、代表者会を設けることにより、幅広い意見を取り入れ、スムーズな運営を可能にしました。

今回の改正で、本会の基礎となる会則になったと思っております。もちろん、今後とりまく環境の変化等で改正に迫られる状況が出てくるのは十分に考えられます。しかし、それは本会をより良くする為のものであり、その時々々の環境に適応していく為に必要な事である事をご理解頂きたいと思っております。今後とも同窓会活動にご理解とご協力を賜りますよう、お願いいたします。

東北文化学園大学同窓会会則 (平成22年10月24日改正)

<p>目次 第1章 総則(第1条-第3条) 第2章 会員(第4条) 第3章 役員(第5条-第7条) 第4章 会議(第8条-第8条の3) 第5章 会計(第9条-第10条の2) 第6章 雑則(第11条-第12条) 附則</p> <p>第1章 総則</p> <p>(名称) 第1条 本会は、東北文化学園大学同窓会と称する。</p> <p>(本部) 第1条の2 本会は、本部を東北文化学園大学内に置き、必要に応じ支部同窓会等を置くことができる。 2 本部の位置は、宮城県仙台市青葉区国見六丁目45番1号とする。</p> <p>(目的) 第2条 本会は、会員相互の親睦を図り母校と会員との関係を密にするとともに、母校の発展に寄与することを目的とする。</p> <p>(事業) 第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 機関紙の発刊、ホームページ等の管理運営 (2) 会員名簿の整備及び管理 (3) 講演会、懇談会等の開催 (4) 「進路・就職支援」及び「正課外活動支援」等、在学生に対する支援 (5) その他本会の目的を達成するために必要な事業</p> <p>第2章 会員</p> <p>(会員) 第4条 本会は、次の会員をもって組織する。 (1) 正会員 東北文化学園大学(以下「大学」という。)、東北文化学園大学大学院(以下「大学院」という。)、東北科学技術短期大学(以下「短大」という。)の卒業生、修了生及び大学、大学院、短大に在籍した者で東北文化学園大学同窓会理事会(以下「理事会」という。)が推薦し東北文化学園大学同窓会代表者会(以下「代表者会」という。)において承認された者 (2) 学生会員 大学及び大学院の学生 (3) 特別会員 大学、大学院、短大の教職員及び教職員であった者 (4) 特別名誉会員 学校法人東北文化学園大学理事長 (5) 名誉会員 理事会が推薦し代表者会において承認された者</p> <p>第3章 役員</p> <p>(役員) 第5条 本会に、次の役員を置く。 (1) 顧問 若干人 (2) 会長 1人 (3) 副会長 2人 (4) 理事 20人以内 (5) 監事 2人 (6) 幹事 卒業年度毎に各学科専攻2人 2 顧問を除く役員の任期は、3年とする。ただし、再任を妨げない。</p>	<p>3 前項の役員に欠員が生じたときは、補充を行う。 4 前項の役員の任期は、前任者の残任期間とする。 5 役員は、無報酬とする。</p> <p>(役員の選出) 第6条 顧問は、学長及び会長経験者をもって充てる。 2 会長及び副会長は、正会員の中からそれぞれ総会において選出する。 3 理事は、会長が理事会の同意を得て幹事の中から指名する。 4 監事は、正会員及び特別会員の中から、総会において選出する。ただし、特別会員にあっては、学生部長をもって充てる。 5 幹事は、会長が新たに正会員となる卒業生の中から大学の推薦を受けた者を理事会の同意を得て指名する。ただし、会長は新幹事の総数の3分の1を超えない範囲で大学の推薦を受けた者以外の者を理事会の同意を得て指名することができる。 6 会長は、新たに選任された役員を総会において報告しなければならない。</p> <p>(役員の任務) 第7条 役員の任務は、次のとおりとする。 (1) 顧問は、必要に応じ理事会に出席し意見を述べることができる。 (2) 会長は、本会を代表し、会務を統括する。 (3) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。 (4) 理事は、本会の事業運営に当たる。 (5) 監事は、会計及び会務を監査する。 (6) 幹事は、同期会員を代表すると共に、会員相互の連絡調整に当たる。</p> <p>第4章 会計</p> <p>(理事会及び代表者会) 第8条 理事会は、会長、副会長、理事及び監事をもって構成され、年4回開催し、次の事項を審議する。 (1) 第4条第1号及び第5号に定める会員の推薦 (2) 理事及び幹事の選任 (3) 収支予算及び決算並びに事業報告に関する事項 (4) 本会則の改廃に関する事項 (5) 総会の開催に関する事項 (6) 本会の事業に関する事項 (7) その他会長が必要と認めた重要事項 2 代表者会は、全役員をもって構成され、年1回開催し、次の事項を議決する。 (1) 第4条第1号及び第5号に定める会員の承認 (2) 収支予算及び決算並びに事業報告の承認 (3) 支部同窓会設置に関する事項及び承認 (4) 本会則の改廃に関する事項 (5) 本会の運営に必要な諸規則の制定、改廃に関する事項 (6) その他理事会が必要と認めた重要事項 3 会長が必要と認めた場合は、臨時に理事会を開催することができる。 4 理事会が必要と認めた場合は、臨時に代表者会を開催することができる。 5 理事会及び代表者会は、会長が招集し、その議長となる。 6 理事会及び代表者会の議事は、出席者の過半数をもって決する。ただし、本会則を改正する場合には、出席者の3分の2以上の同意を必要とする。</p> <p>(総会) 第8条の2 総会は、3年に1回開催し、次の事項を議決する。 (1) 役員の選出に関する事項 (2) 会則の改廃に関する事項 (3) 本会の事業に関する重要事項 (4) その他本会の運営に関する重要事項</p>	<p>2 理事会が必要と認めた場合は、臨時に総会を開催することができる。 3 総会は、会長が招集し、その議長となる。 4 総会の議事は、出席者の過半数をもって決する。</p> <p>(委員会) 第8条の3 会長の諮問、委嘱及び理事会の決定した事項の企画立案、またはこれを執行する機関として次の委員会を設置することができる。 (1) 総務委員会 (2) 財務委員会 (3) 広報委員会 (4) その他理事会が必要と認めた委員会 2 委員会の構成員は、会長が理事会の同意を得て指名する。 3 会長は、新たに選任した委員会の構成員を総会において報告しなければならない。</p> <p>第5章 会計</p> <p>(会計) 第9条 本会の経費は、会費、寄付金、その他の収入をもって充てる。 2 会費は、次のとおりとする。 (1) 学生会員は、入学時に入会金5,000円を納入するものとする。また、一旦納入した入会金は一切返還しない。 (2) 正会員は、終身会費として10,000円を4年次後期に納入するものとする。 (3) 特別会員及び名誉会員からは、会費を徴収しない。 3 本会の会計に関するその他の事項については、別に定める。</p> <p>(会計年度) 第10条 本会の事業及び会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。</p> <p>(会計報告) 第10条の2 次の事項は、総会において報告しなければならない。 (1) 収支予算 (2) 収支決算 (3) 事業報告</p> <p>第6章 雑則</p> <p>(事務局) 第11条 本会の本部事務を所管するために、事務局を置く。 2 事務局に、事務局長、事務局次長及び事務局職員若干人を置く。 3 事務局長には大学事務局長を又事務局次長には大学事務局教務部長をそれぞれ委嘱する。 4 事務局職員は、本会から派遣する職員とする。</p> <p>(会則の改廃) 第12条 この会則の改廃は、総会の決議によらなければならない。 2 この会則を改廃したときは、学校法人東北文化学園大学理事長に届出ることとする。</p> <p>附則 1 この会則は、平成15年3月20日から施行する。ただし、平成15年度以前の入学者にかかる入会金は、終身会費と併せて納入するものとする。 2 短大出身者である正会員にかかる終身会費については、第9条第2項の規程にかかわらず、併合前の短大同窓会の資金をもって一括充当する。</p> <p>附則 この会則は、平成22年10月24日から施行する。</p>
--	--	--

同窓会総会議事及び審議結果

平成22年度同総会総会(平成22年10月24日)において会則改正のほか、以下の議案について審議が行われました。



本総会の議案資料は同窓会公式Webサイト
(http://www.tbgu-alumni.jp/)でご覧いただけます。

- (第1号議案) 過年度事業報告について
羽田孝幸理事から、過年度事業報告が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。
- (第2号議案) 過年度決算報告並びに監査報告
大塚由香理事から、過年度決算報告が行われた。続けて、大塚由香理事から、会計監査の結果、適正である旨の評価を受けたことが報告され、審議の結果、原案どおり承認された。
- (第3号議案) 平成22年度事業計画(案)について
羽田孝幸理事から、平成22年度事業計画案について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

- (第4号議案) 平成22年度収支予算(案)について
大塚由香理事から、平成22年度事業計画案について説明があり、審議の結果、原案通り承認された。
- (第5号議案) 会則改正について
高橋秀之副会長から、会則改正の必要性と主な変更点について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- (第6号議案) 役員を選任について
高橋秀之副会長から、第5号議案にて改正された会則第6条に規定する役員の選出方法について説明が行われ、続けて、堀江裕宗会長から、前回総会以降選出された幹事の紹介が行われた。
また、会則改正に伴い役員の選出を行うこととし、自薦・他薦での立候補者の確認を行ったが立候補者はおらず、会員から事務局に一任する意見が出された。これを受け事務局から現役員再任の提案があり、現役員並びに事務局による協議の上、役員が推薦され、審議の結果、役員が選出された(選出役員については7ページに掲載)。

文化学園祭2010～DASH～に餅つき企画復活!

文化学園祭2010屋台企画「華飛・夢限大」副店長
佐瀬 正志
平成15年／大学・科学技術学部応用情報工学科卒

去る10月23・24日に行われた文化学園祭2010に、23日のみですが同窓会から有志企画として「餅つき振る舞い」を出展しました。憶えている方も多いと思いますが、「餅つき振る舞い」は以前文化学園祭で行っていた名物(?)行事です。卒業生の多くに懐かしんでもらえるよう、今回、同窓会同様に復活の思いを込め準備をさせて頂きました。

当日は天気にも恵まれ、約40人の同窓生が集まり当時は振り返り、話をはずませながら「餅つき」を行いました。まさに“昔取った杵柄”、殆どの参加者が経験者の為、何を行えば良いのか解っている様子でスムーズに対応ができており大変すかりました。また、当時同様に無料配布という事で多くの方々に試食して頂き、来店者には学生時代にお世話になった先生方や職員の方々もおり、時には手を止めて、思い出話や近況報告に話が弾んでいる光景も至る所で見受けられました。「懐かしい」という言葉の絶えない1日だったと思います。お手伝い頂いた同窓生・文化学園祭実行委員の方々、来店頂いた教職員の方々、本当にありがとうございました。一部ですが、参加いただいた同窓生のコメントをご紹介します。今回、参加できなかった方々も多くいらっしゃると思います。またこのような企画を実施したいと思いますので、今年の10月お待ちしております。



懐かしい方々に会えて楽しかった。また、やりた〜い。結束(旧:山谷)ゆかり

中庭の変貌ぶりに驚き!! 楽しかった〜。工藤義彦

懐かしい仲間に加え、学生に戻ったようで楽しかったよ。川原輔介

先輩方・後輩達、懐かしい方々に久しぶりにお会いでき嬉しかった。速原(旧:石澤)真弓

メディアセンターが無くなって! 少しさびしい。久しぶりに友達に会えて懐かしかった。三浦(旧:高橋)由史子

皆に久々に逢えて楽しかった。埼玉から来たかひがありました。また、やりたいな(笑)田丸景子

久しぶりの大学は懐かしく学生時代の時間を過ごしているような不思議な感覚がした。来年は一緒に餅食べよう(笑)新妻純一

久しぶりの母校で、楽しい時間を過ごせました。村上学

懐かしい方々に逢えて良かった。機会は大切にしたいと思います。矢島華子



活躍する卒業生

地域に根ざして

平成15年/大学・総合政策学部総合政策学科卒業
 社団法人丸森町シルバー人材センター 勤務
穴戸 寛人

卒業してだいぶ経ちますね。あつという間にアラサーです。私にとって在学中、印象に残っているのはサークル活動です。中学から卓球を始め、大学でもと思っていましたが1期生ということで入学当初はサークルもありませんでした。そんな中、学内でサークルを作ろうという動きがあり、すかさず卓球サークルを立ち上げるために手を挙げました。学生課の協力の下、仲間を集めて立ち上げることができたときは嬉しかったですね。チームの実力はともかく、ひとつの目標に向けて協力し合うことを学び、目標を達成することへのやりがいを知ることができました。この経験は、今も生かされていると確信できます。

現在は、丸森町のシルバー人材センターに勤務しています。60歳以上の高齢者が会員登録し、雇用とは違ったかたちで就業の機会を得られる市町村単位の組織です。シルバー人材センターには様々な職種の依頼がきます。その内容をよく理解し、作業するのにふさわしい会員へ斡旋するのが私の仕事です。

事務的な仕事ですが、何よりも重要なのは人間関係です。小さな町の地域密着な仕事に携わっているため顔は知れ渡り、外出すれば数百人の目がどこかで私を捉えます。「仕事とプライベートは別」という考え方はここじゃ通用しません。田舎では、顔を会わせたら「あんたどごの人？」がコミュニケーションの始まりのようです。それを理解してからはスムーズに仕事がこなせるようになりました。近所との交流が主な高齢者にとって、訛りの少ない言葉を使う他人は警戒されやすいのです。こちらから素性を表さないと警戒は解けません。仕事の話はそこからです。まさに「郷に入れば郷に従え」ですね。

最後に。同期生を始め、東北文化学園大学を卒業していった皆さん。様々な仕事に就き努力していることと思います。これからは我々の世代が社会の中核を担っていくこととなります。それぞれのフィールドで、より良い暮らしができるよう頑張らしましょう！



●「活躍する卒業生」寄稿者募集●

本会では、本コーナーにご寄稿いただける卒業生を募集しております。在学中の思い出や近況を、形にしてみませんか？自薦、他薦は問いません。興味のある方は同窓会事務局までお気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 東北文化学園大学同窓会事務局 電話/022-233-6194 (直通) メール/alumni@office.tbgu.ac.jp

和而不同

平成17年/大学・医療福祉学部保健福祉学科生活福祉専攻卒業
 身体障害者療護施設 杏友園 勤務
熊谷 慎

「和而不同」、他者と和をなし、他者に流されない己をもつ。これは私が仕事をして行く上で常に考えていることです。

私は現在、学生時代に実習でお世話になった福祉施設に勤務しています。実習中にこの福祉施設の生活支援に取り組む姿勢

に大変感動し、福祉の現場で仕事をするのであればこの施設しかないと考えていました。学生時代から現在の職場で働きたいという気持ちが大変強く、就職活動では家族に心配をかけた記憶があります。念願叶い、実際に働いていく中で、実習中には見えなかった良いこと、もっと考えるべきことなど、本当に多くのことが見えてきました。その中で様々な事に迷いながらも、とにかく仕事に取り組んできた5年間でした。

人付き合いが大変下手な自分ではありますが、5年間働いてきた中で、他者と和をなすことの重要性を常々感じています。どんなに頑張っても、自分一人で考え、進めた仕事は何かしらの誤りや至らない点がでてくるもの。そんな時に先輩や同僚からのアドバイスでどんなに救われてきたことか、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。自分一人で仕事をするのではなく、チーム一丸となつて一つの仕事を成し遂げるということの重要性を感じています。

また、様々な先輩や同僚・後輩と仕事をしていますが、当然ながら尊敬できる人がいれば、仕事に対する意識が自分と異なる人もいたりします。日々仕事をして行く中で、人間関係で悩んでしまうことも多々あります。そんな時こそ、何の為に仕事をしているのか、本当に大切な事は何なのか、自分が行なうべき事は何なのかを考えて仕事に取り組んでいきたいです。

「和而不同」、他者と和をなすこと、協調性をもって仕事をしていくことを大切にし、狎れあいに流されることなく、信念をもって仕事に取り組んでいきたいと思っています。



学園近況



学園内に再生の燈火ともる

昨年度、看護学科の設置に伴う学園内施設の工事が行われた際、偶然にもその工事に本会会員である同窓生が携わっており、建物内電気設備工事に加え、本部棟前ロータリーに建立されたナイチンゲール像の蝋燭灯設置工事も併せて施工しました。2010年秋に建立されたナイチンゲール像は、小さく温かな蝋燭の灯火を左手に、毎日静かに学園を照らしています。

成長を続ける我が母校 東北文化学園大学

平成7年/短大・建築設備環境学科卒業
 株式会社サンテック東北支社 勤務
酒井 幸紀

私は、東北科学技術短期大学 建築設備環境学科 第1期卒業生です。母校の工事(電気設備設計・施工管理)を施工協力させていただきました。

担当者とは綿密な打ち合わせを行いながら、近隣・学校関係者様からの無苦情及び無事故・無災害で工事竣工を迎えられたことを大慶至極に存じます。

また、ナイチンゲール像の建立にあたり、蝋燭灯設置工事につきましては、完成後に母校(学園様)から「イメージした通りの物が出来上がり、有難う御座いました。」と仰っていただきました。このことは、今までの工事の達成感とは違い、母校から社会人として一人前に認めていただいたものと感激しました。

小生は、学生時代はあまり真面目に勉強に取り組んでいた方ではないですが、第1期生ということもあり、自分たちがこの学校の伝統を作って行こうと自負し、勉学・進路・学内行事・アルバイト等に励みました。学生時代に教授や先生及び友人と様々な話をしたことが発想力・計画性・人間関係の構築等、社会に出てから非常に有益だったと感じております。

私の好きな言葉に「努力」、「経験」、「気づき」があります。結果は大切ですが、それまでのプロセスを大事にすること(コツコツと努力する)。見ている人は、見てくれているのです。また、いろいろな経験を積むことが人間の感受性を豊かにし、高められていきます(何でも経験する)。気づきとは、何かを感じるとることの大切さです。相手の人が何を考え、自分がどのように行動すれば良いのかを鍛錬しています。リーマンブラザーズショック以降、日本経済は大変厳しい時代になり、政治も混乱に陥っておりますが、これからの日本の将来は我々各々の頑張りや元気がかかっております。

身体が一番大切ですので健康管理に留意して、お互い公私ともに一生懸命頑張りましょう。

最後になりますが、御指導・御鞭撻をいただきました教職員の方々、誠に有難う御座いました。これからも宜しく願いいたします。



選出役員一覧

平成22年度同窓会総会において、以下の役員が選出されました。ここにご報告いたします。

なお、各卒業年から選出の幹事については、同窓会公式Webサイト (<http://www.tbgu-alumni.jp/about/member>) でご紹介しています。



役職	氏名	卒業年	卒業学科	役職	氏名	卒業年	卒業学科
会長	堀江 裕宗	平成15年	大学 応用情報工学科	理事	橋間 亮	平成16年	大学 総合政策学科
副会長	高橋 秀之	平成7年	短大 情報工学科	理事	一條 佑介	平成17年	大学 環境計画工学科
副会長	豊原 亮子(旧姓:高橋)	平成15年	大学 リハビリテーション学科(理学)	理事	木皿 吉彦	平成19年	大学 応用情報工学科
監事	佐瀬 正志	平成15年	大学 応用情報工学科	理事	角田 雅樹	平成19年	大学 応用情報工学科
理事*	臼田 美幸(旧姓:増子)	平成12年	短大 建設設備環境学科	理事	小林 圭太	平成20年	大学 保健福祉学科
理事	荒山 直子	平成15年	大学 保健福祉学科	理事	岩淵 史義	平成21年	大学 保健福祉学科
理事	大塚 由香	平成15年	大学 保健福祉学科	理事	高橋 美絵	平成21年	大学 保健福祉学科
理事	佐々木 淑恵(旧姓:菅野)	平成15年	大学 保健福祉学科	理事	土谷 絵里子	平成21年	大学 保健福祉学科
理事	熊田 健一	平成15年	大学 総合政策学科	理事	山田 淳司	平成21年	大学 保健福祉学科
理事	羽田 孝幸	平成15年	大学 総合政策学科	理事*	鈴木 博人	平成22年	大学 リハビリテーション学科(理学)
理事	奥津 悠介	平成16年	大学 総合政策学科				

*臼田美幸理事、鈴木博人理事については、総会終了後に本人承諾があったため、会長が理事会の同意を得て追加選出しています

同窓会活動

地区同窓会に参加して

平成12年／短大・建築設備環境学科卒業
株式会社増子建築工業 勤務

白田 美幸 (旧姓: 増子)

私は、東北文化学園大学の前身であります東北科学技術短期大学最後の卒業生です。短大を卒業してから、大学の情報誌などによって、大学の飛躍されているすがたを見聞きしておりました。

そんな中、卒業して約10年ぶりに地区同窓会のお知らせがあり、是非参加したいという思いでお返事しました。前回、仙台での同窓会は、仕事の都合上参加できなかったのですが、今回は福島県郡山市での開催でしたので参加させて戴きました。



案内の中には、出席する先生がたのリストがありましたが、その中に私の恩師の名前がなかったのでメールでの申し込みの際、コメント欄に恩師の岡田誠之先生をご指名させていただいたところ、当日岡田先生に会えることになりました。

地区同窓会当日、学長先生はじめ岡田先生や諸先生がたと楽しく昼食をと

地区同窓会を開催しました

今年度は、福島県郡山市・岩手県盛岡市で開催しました。

地区同窓会in郡山

【日時】
2010年9月23日(祝・木)
11:45～12:45
【会場】
郡山ビューホテルアネックス1F
シーズンダイニング スプーン
(福島県郡山市中町)

地区同窓会in盛岡

【日時】
2010年10月2日(土)
11:45～12:45
【会場】
びよんびよん舎 盛岡駅前店
(岩手県盛岡市盛岡駅前)

同窓会のご案内は、同窓会公式Webサイト「同窓生の輪」に掲載いたします。お住まいの地域の同窓会に是非ご参加ください。

りながら交流させていただきました。ありがとうございました。久しぶりに同窓会の会長をされております堀江裕宗さんにもお会いでき、当時堀江さんは、文化学園大学の1年生で私は短大の2年生で、お互い文化祭実行委員だったのが出会いでしたが、そのころ一緒に頑張っていた記憶がよみがえり、とても懐かしい再会で嬉しかったです。岡田先生には、雨水利用について色々教えて頂きました。やはり同窓会はこのような出会いや勉強ができる場であり、視野が今以上に広がる場だと思いました。是非、今回参加できなかった同窓生の皆様、次の機会に参加してみたいかがでしょうか？気取らず普段のままで参加していただけます。私もまた参加します。

住所が変わったらお知らせください

本会では、同窓会報を始めとする各種ご案内を会員の皆様へお送りしています。お名前が変わったり、住所が変わったりした際は、本会にお知らせください。情報の変更は、同窓会公式Webサイトからお手続きいただけます。郵送によるお手続きをご希望の方は、事務局までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

東北文化学園大学同窓会事務局
仙台市青葉区国見6丁目45-1 大学教務部学生課内
電話022-233-6194



※お預かりした個人情報は同窓会活動にのみ利用し、名簿の販売・頒布は行いません。

同窓会費の納入について

本会は、会員の皆様からの会費により運営を行っております。入学時に入会金として5,000円、卒業時に終身会費10,000円の納入をお願いしております。まだ会費を納入いただけていない場合は、会費の納入をお願いいたします。

【会費振込先】

トウホクバンク カクエンダイガクドウソウカイ
仙台銀行本店営業部 普通預金 4755741 東北文化学園大学同窓会

※お振込の際は、学籍番号とお名前を必ずご入力ください。学籍番号は同窓会報送付筒に印字しております。

※恐れ入りますが、振込手数料はご負担ください。



「想いは叶う。」

平成15年／大学・保健福祉学科保健福祉専攻卒業
宮城県立こども病院 勤務
同窓会理事 大塚 由香

同窓生の皆さん、こんにちは！寒さに負けず元気に過ごされていますか？私とはいうと、今年の1月から6年ぶりに仙台市へ戻ってまいりました。現

在、私は言語聴覚士として宮城県立こども病院に勤務しています。大学在学中の実習がきっかけで、障害を持つこどものリハビリに携わりたい、こどもの未来につながるようなリハビリをしたいという想いから目指しました。あれから10年の歳月を経て、念願かなっての職場となります。

しかし、私の本当の想い(夢)はこれからです。昨年ノーベル賞を受賞された根岸教授の言葉に「想い(夢) 続けて努力すれば、年月は経っても想いは叶うのです」とありました。夢を抱くこと、想い描き続けることは大人になっても素敵なことだともいいませんか？さあ、今夜はお酒を飲みながら、お互いの夢(想い)を語ってみましょう！！

お詫ごと訂正

前号(vol.3)P.10掲載の 定年退職された先生方(平成20年度・平成21年度)において江村 超先生のお名前が抜けておりました。ここにお詫び申し上げます。
【定年退職された先生方(平成21年度)追加】江村 超先生 H22.3.31退職 知能情報システム学科教授